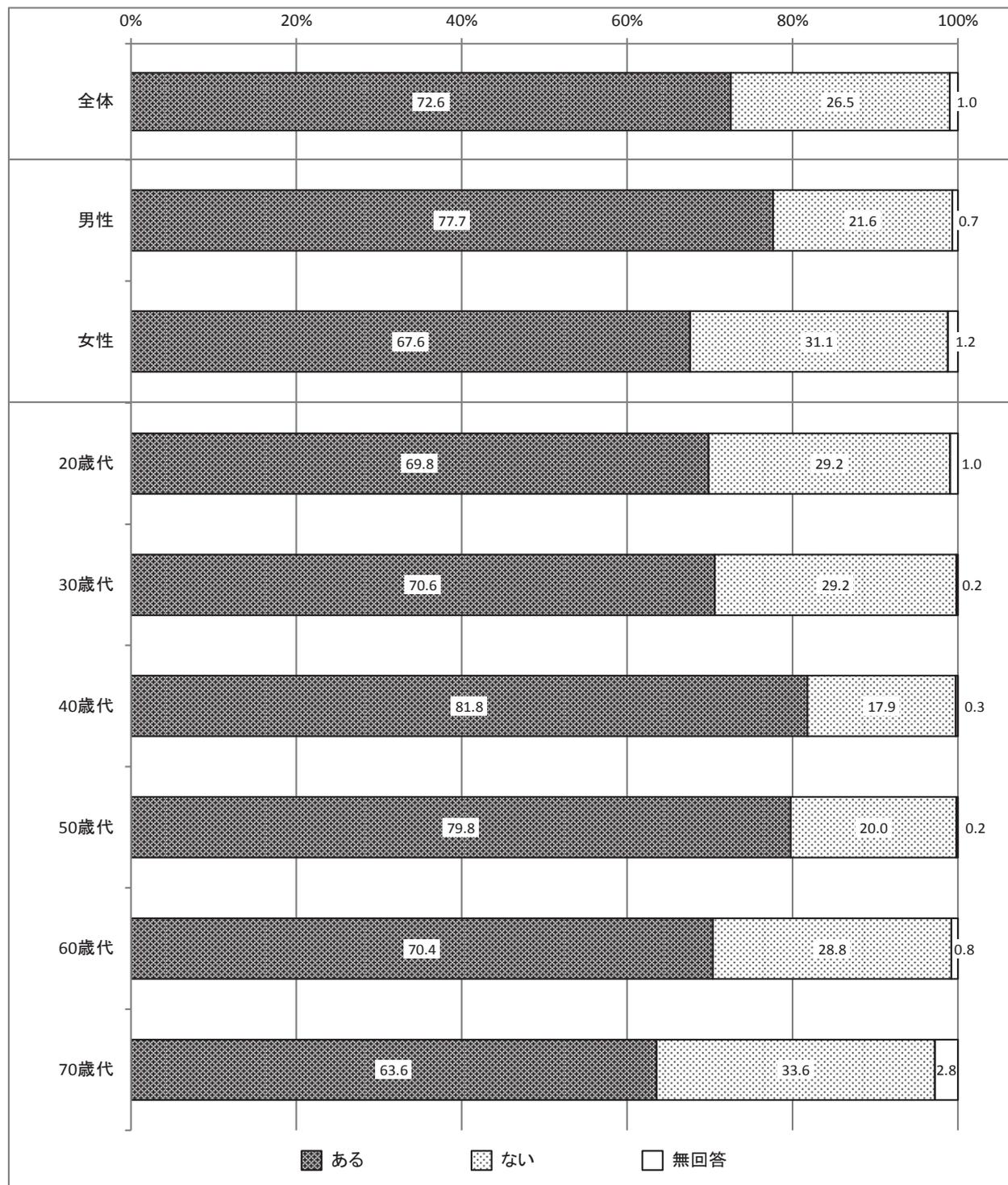


(11) 健診(検診)の受診について

問 27 あなたは過去1年間に、健診等(健康診断、健康診査および人間ドック)を受けたことがありますか。
(○は1つ)



「受けた(ある)」と回答した割合は全体の72.6%、「受けていない(ない)」と回答した割合は全体の26.5%であった。

性別では、女性より男性において「受けた」と回答した割合が高かった。

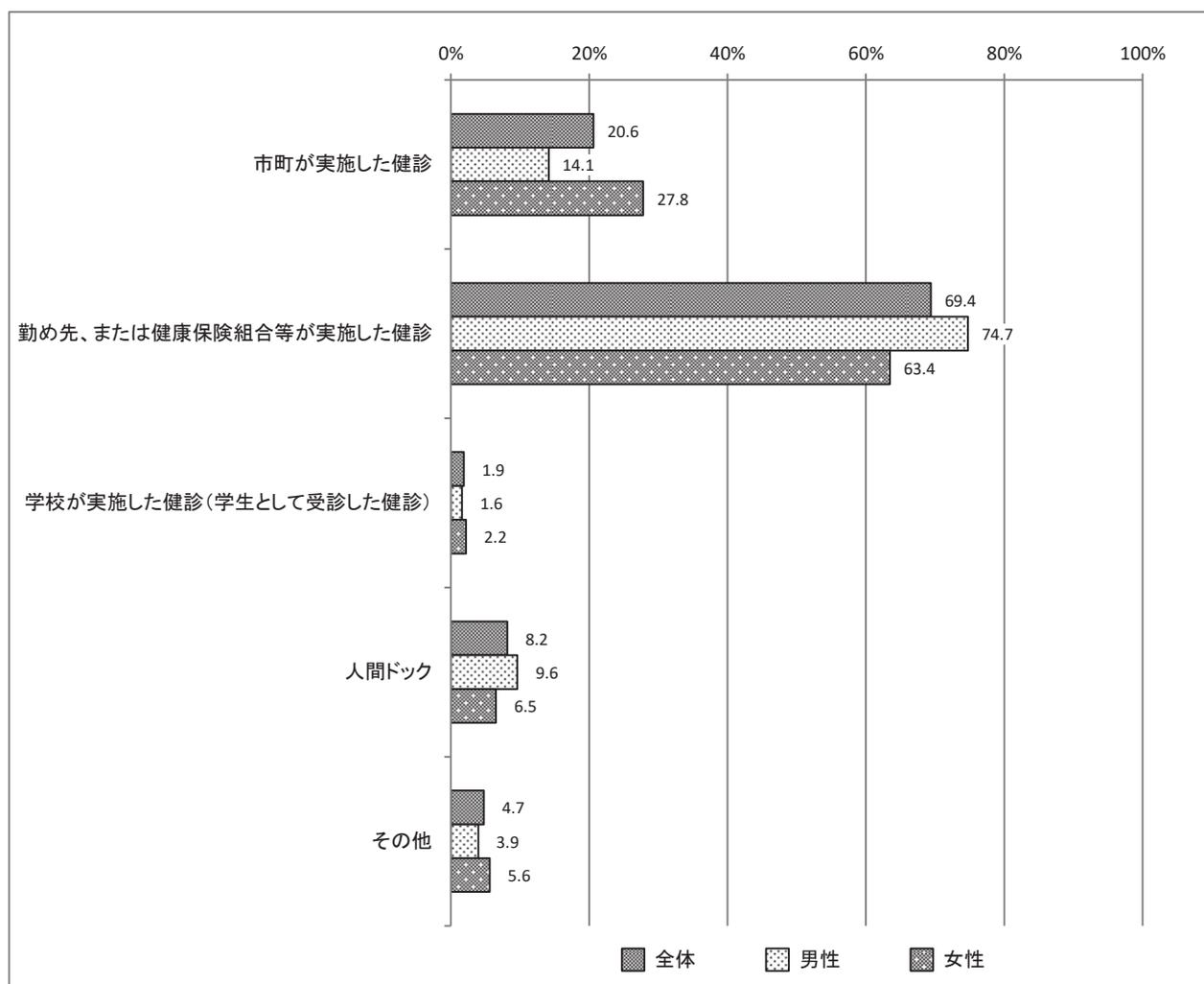
年代別では、40歳代、50歳代において他の年代より「受けた」と回答した割合が高かった。

【参考値】

平成29年度 健康づくりに関する県民意識調査 「ある」71.7%

問 27-1 どのような機会に健診等を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

※ 問 27 の選択肢『ある』を選択した人のみ回答



問 27 で健診等を「受けた (ある)」と回答した者の健診機会の上位は「勤め先、または健康保険組合等が実施した健診」69.4%、「市町が実施した健診」20.6%であった。

性別においても健診機会の上位は同様の傾向であった。

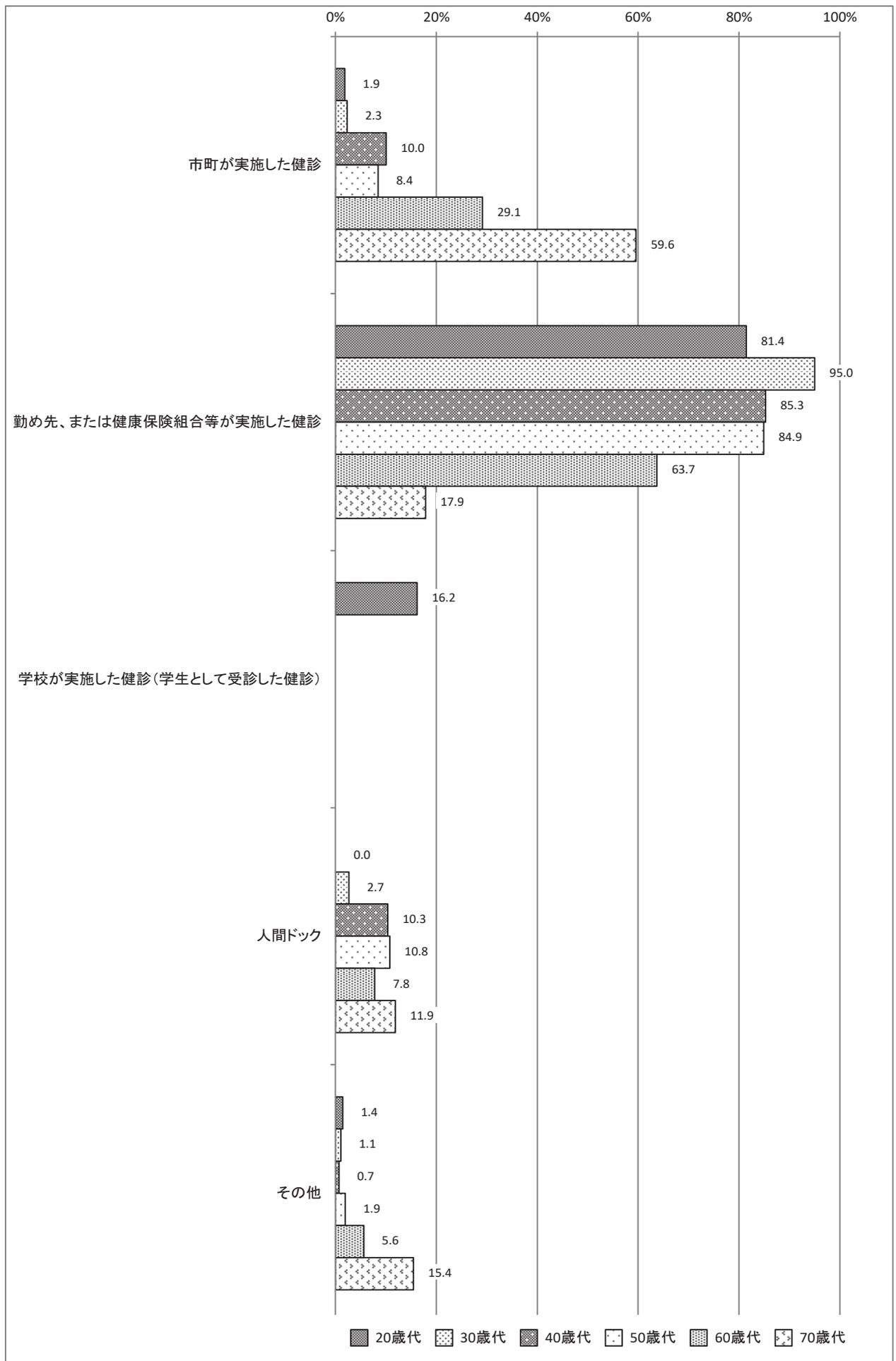
年代別では、年代が高いほど「市町が実施した健診」と回答した割合が高い傾向であった。

【参考値】

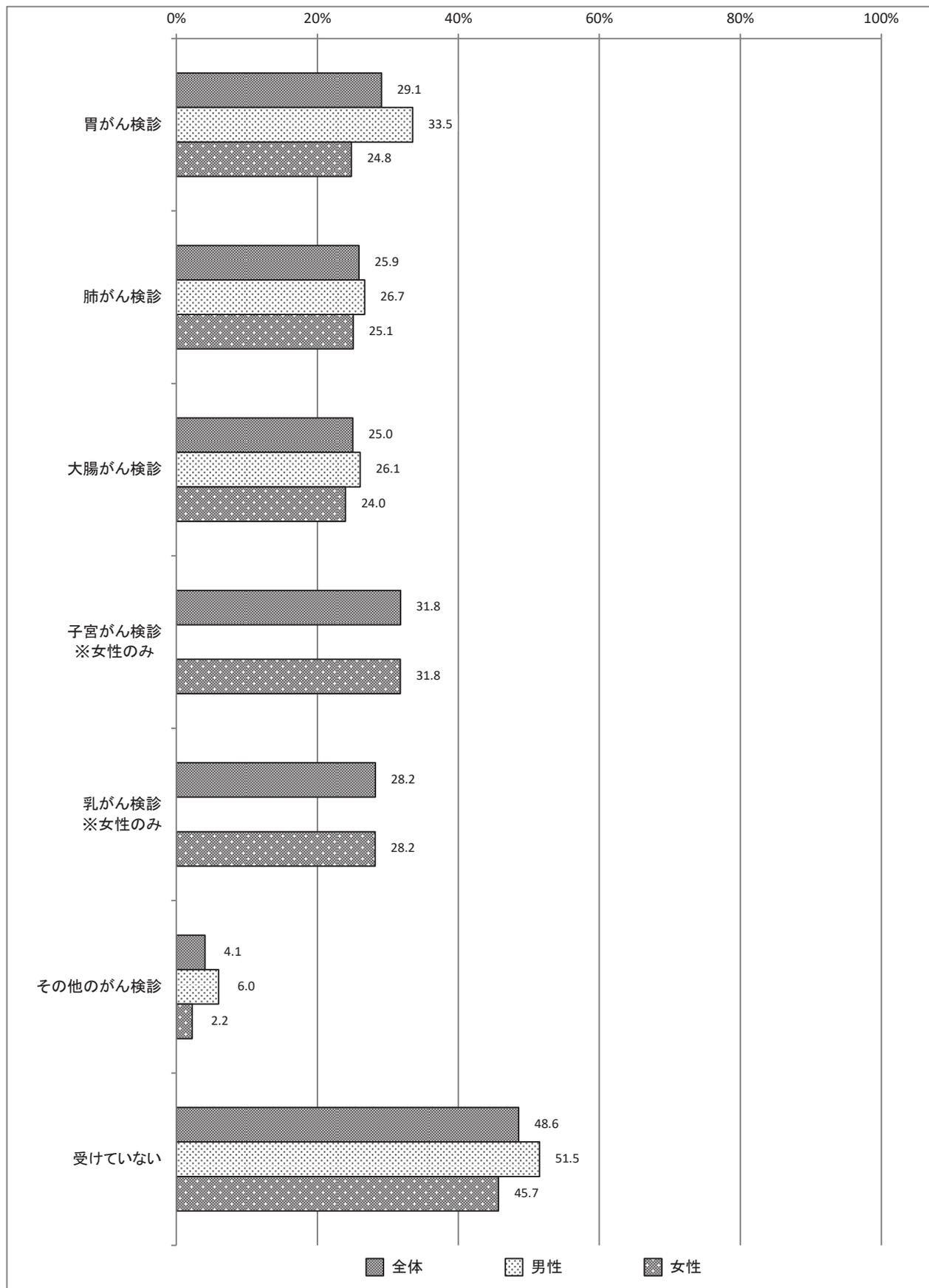
平成 29 年度 健康づくりに関する県民意識調査

「市町が実施した健診」21.6% 「勤め先、または健康保険組合等が実施した健診」65.6%

「学校が実施した健診」1.9% 「人間ドック」7.5%



問 28 あなたは過去 1 年間(子宮がん検診(子宮頸がん検診)、乳がん検診は過去 2 年間)に、以下のがん検診を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)



受診したがん検診の割合は「胃がん検診」29.1%、「肺がん検診」25.9%、「大腸がん検診」25.0%、「子宮がん検診（女性のみ）」31.8%、「乳がん検診（女性のみ）」28.2%であり、「受けていない」という回答は全体の48.6%であった。

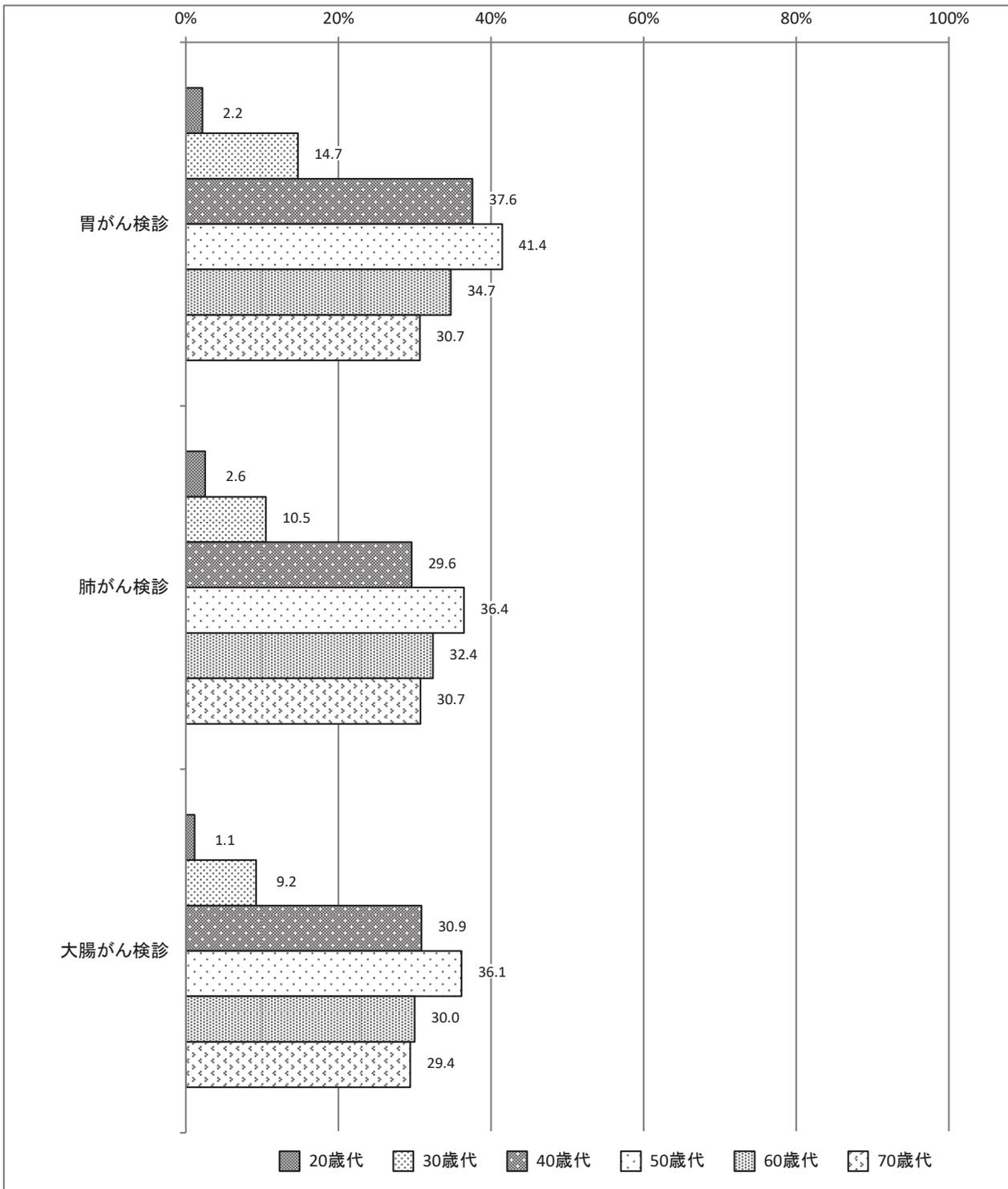
性別では、女性より男性において「胃がん検診」、「大腸がん検診」を受診したと回答した割合が高かった。

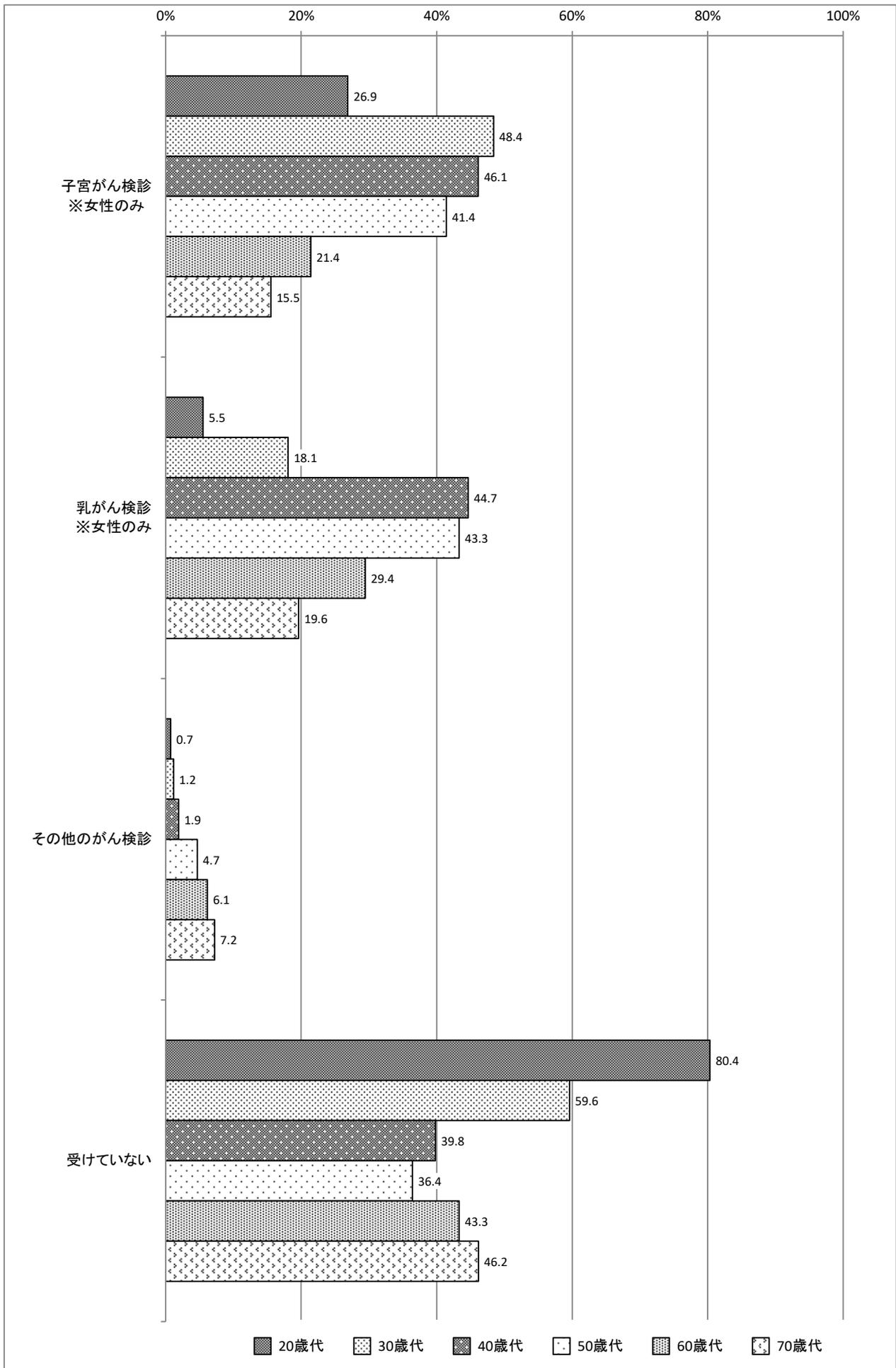
年代別では、20歳代、30歳代において他の年代より「胃がん検診」、「肺がん検診」、「大腸がん検診」を受診したと回答した割合が低かった。

女性を対象とした「子宮がん検診」は30歳代、40歳代、50歳代において、また、「乳がん検診」は40歳代、50歳代において受診したと回答した割合が他の年代より高かった。

【参考値】

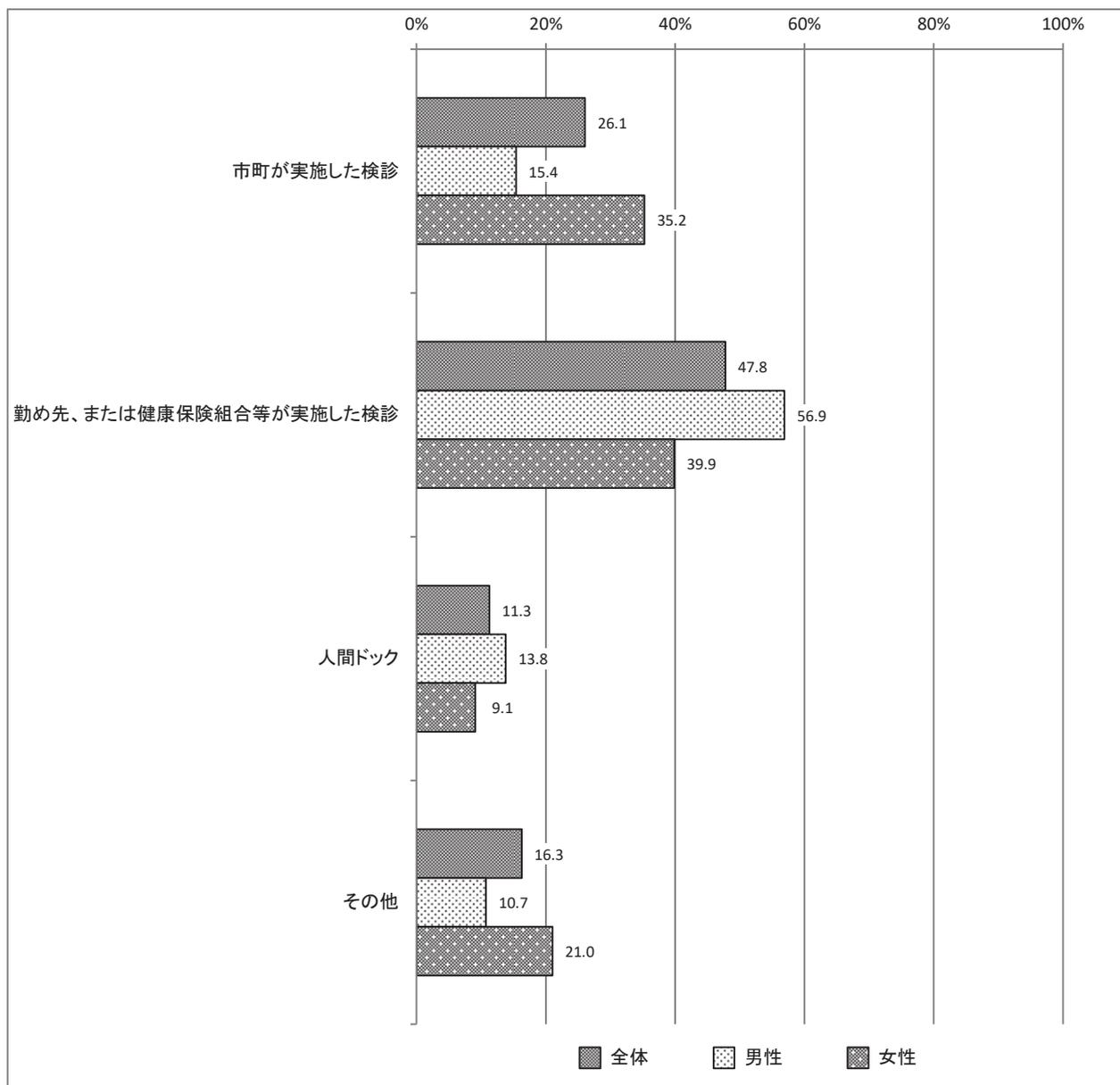
平成29年度 健康づくりに関する県民意識調査 「受けていない」46.9%





問 28-1 どのような機会にがん検診を受けましたか。(あてはまるものすべてに○)

※ 問 28 の選択肢にていずれかのがん検診を選択した人のみ回答



問 28 において、がん検診を受診したと回答した者の受診機会の上位は「勤め先、または健康保険組合等が実施した検診」47.8%、「市町が実施した検診」26.1%、「その他」16.3%であった。

性別では、男性より女性において「市町が実施した検診」と回答した割合が高く、女性より男性において「勤め先、または健康保険組合等が実施した検診」と回答した割合が高かった。

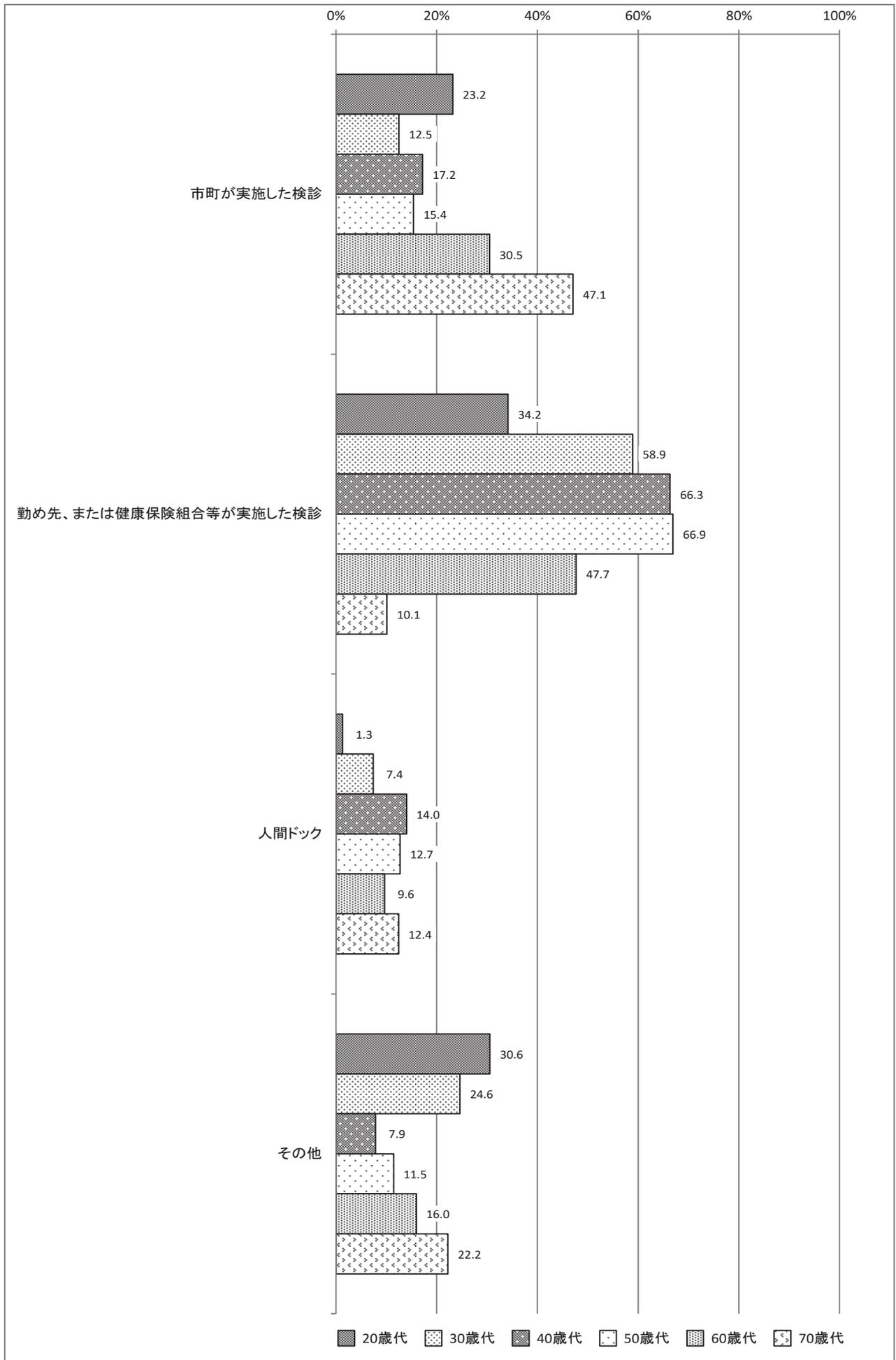
年代別では、60 歳代、70 歳代において他の年代より「市町が実施した検診」と回答した割合が高く、40 歳代、50 歳代において他の年代より「勤め先、または健康保険組合等が実施した検診」と回答した割合が高かった。

【参考値】

平成 29 年度 健康づくりに関する県民意識調査

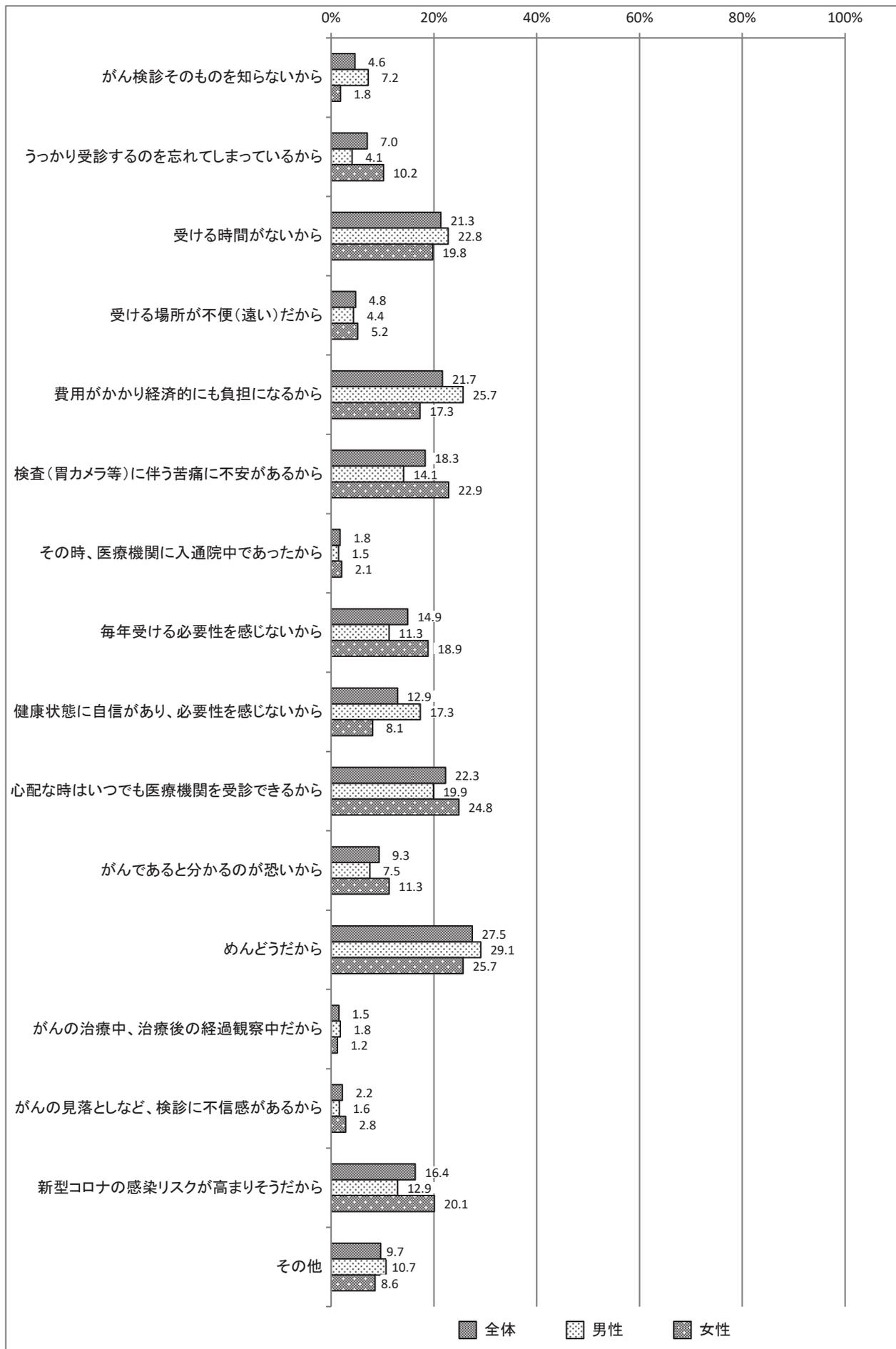
「勤め先、または健康保険組合等が実施した検診」45.3%

「市町が実施した検診」29.6%



問 28-2 あなたが、がん検診を受けていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

※ 問 28 の選択肢『を受けていない』を選択した人のみ回答



問 28 において、がん検診を「受けていない」と回答した者の理由の上位は、「めんどうだから」27.5%、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」22.3%、「費用がかかり経済的にも負担になるから」21.7%、「受ける時間がないから」21.3%、「検査（胃カメラ等）に伴う苦痛に不安があるから」18.3%であった。

理由の上位のうち、性別では、「めんどうだから」、「費用がかかり経済的にも負担になるから」、「受ける時間がないから」と回答した割合は女性より男性において高く、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」、「検査（胃カメラ等）に伴う苦痛に不安があるから」と回答した割合は男性より女性において高かった。

年代別では、「受ける時間がないから」、「費用がかかり経済的にも負担になるから」、「めんどうだから」と回答した割合は 20 歳代から 50 歳代において他の年代より高かった。また、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」と回答した割合は 60 歳代、70 歳代において他の年代より高かった。

【参考値】

平成 29 年度 健康づくりに関する県民意識調査

がん検診を「受けていない」と回答した者の理由の上位

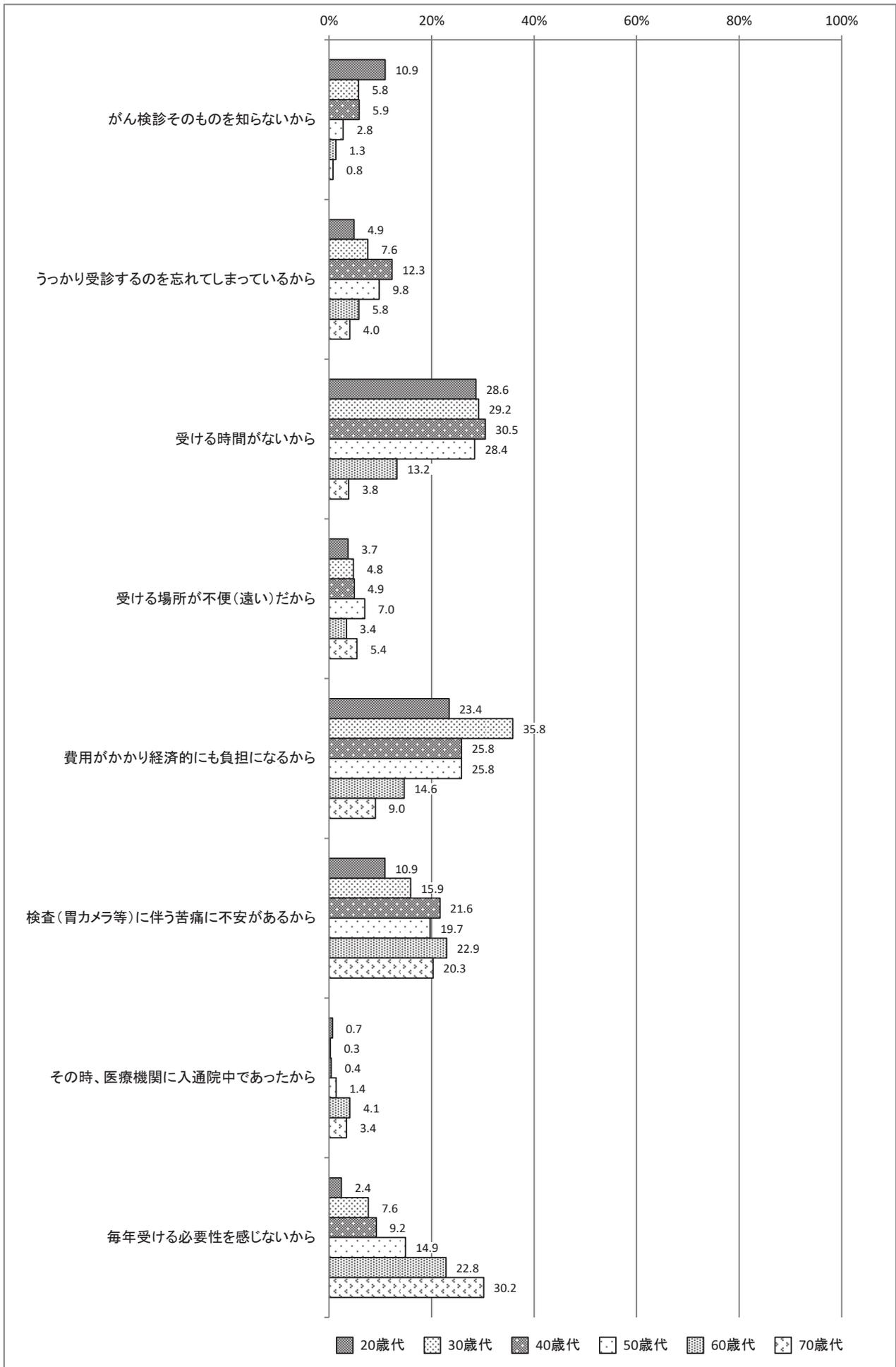
「めんどうだから」30.0%

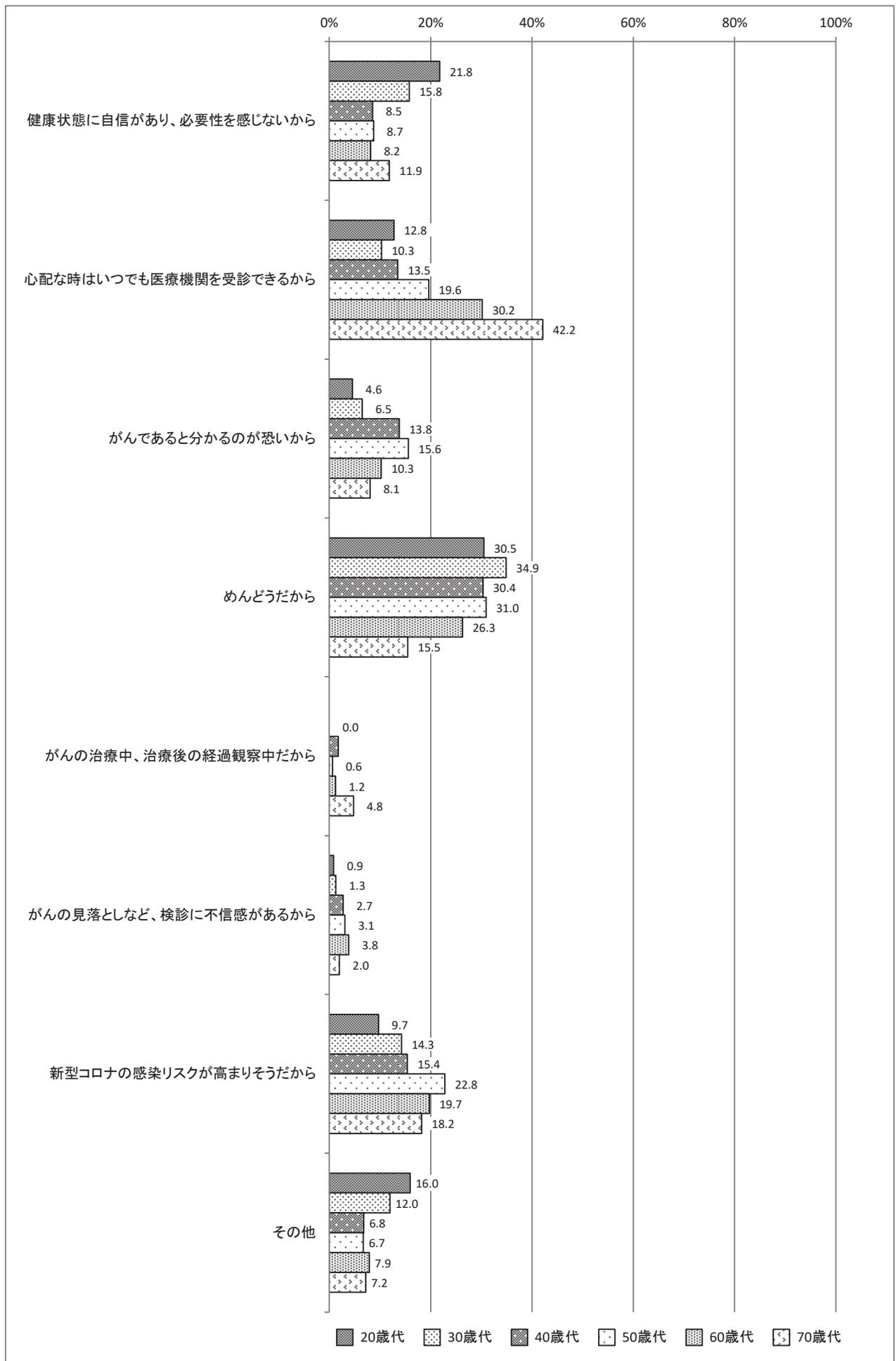
「費用がかかり経済的にも負担になるから」29.6%

「受ける時間がないから」24.4%

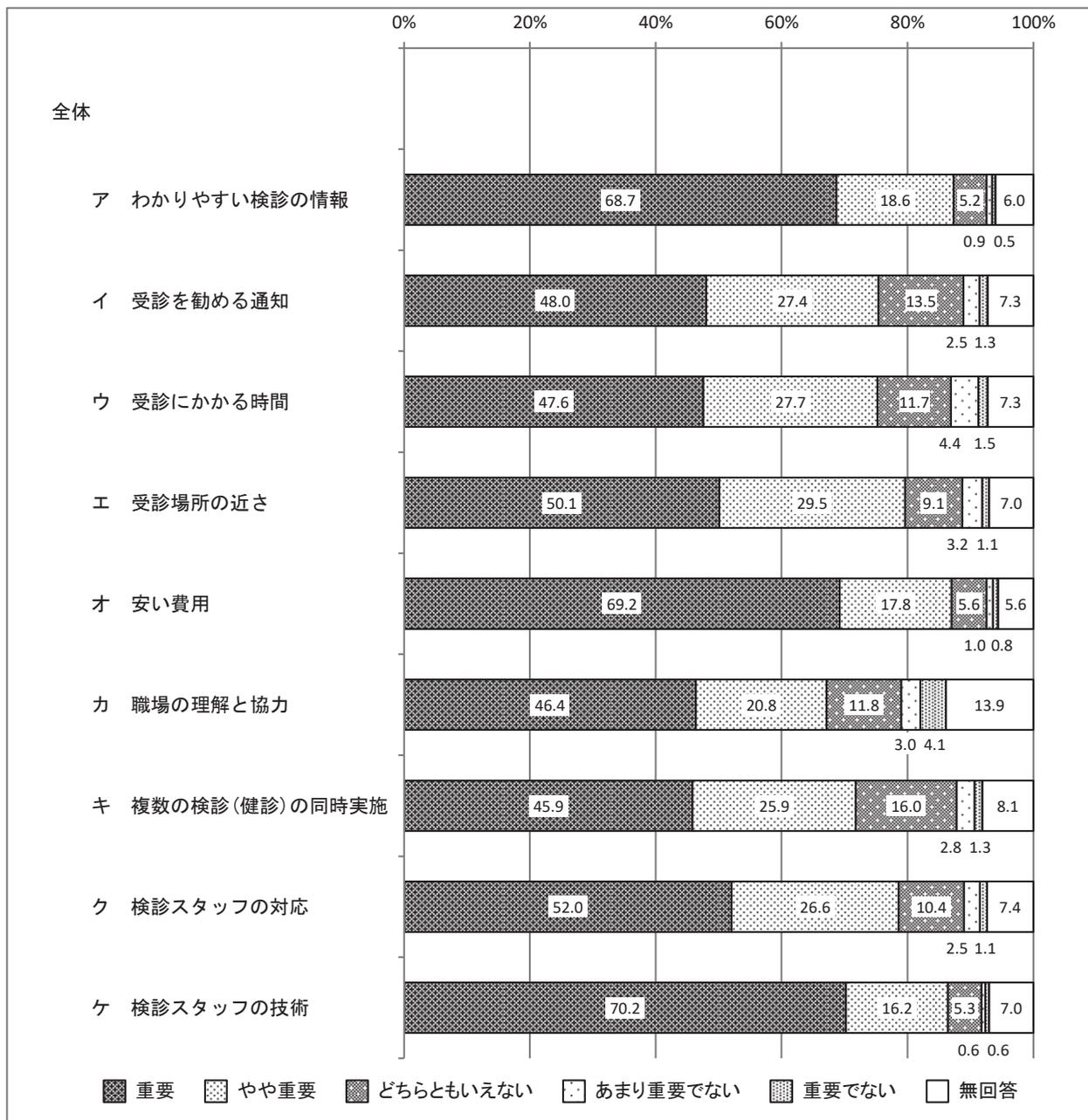
「検査（胃カメラ等）に伴う苦痛に不安があるから」23.6%

「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」22.3%





問 29 がん検診を受けるときに、次の項目はどのくらい重要だと思いますか。(各項目につき○は1つ)



「重要」だと思う項目の上位は「検診スタッフの技術」70.2%、「安い費用」69.2%、「わかりやすい検診の情報」68.7%であった。

性別、年代別においても上位項目は同様の傾向であった。

【参考値】

平成 29 年度 健康づくりに関する県民意識調査

重要だと思う項目の上位

「わかりやすい検診の情報」70.5%

「安い費用」69.5%

「検診スタッフの技術」68.0%

